



市長の合図で列車が出発

# J R 枕崎駅が新たな出発

## 枕崎駅移転に伴う記念式典

J R 枕崎駅が南に1000m 移転し、そのホームの完成を祝う式典が5月1日、市長や地元通り会、J R九州関係者など約100人の出席のもと行われました。

式では、J R九州の青柳俊彦鹿児島支店長が「九州新幹線の全線開通までに南薩の観光を開発しPRしたい」とあいさつ。今後、ホームの屋根などを設置し、タイヨーに直接通じる便利な駅を目指すとも語られました。

この後、式に参加したまくらざき保育園の園児らがくす玉を割り、「のんびりゆっくり号」の愛称を付けた列車に乗り込むと、一日駅長を務めた瀬戸口嘉昭市長の合図で列車が発車しました。

駅周辺開発については、「広報まくらざき1月号」でお知らせしたとおり、旧枕崎駅周辺の土地の所有者であるいわさきコーポレーションから、タイヨーが土地を購入し、



J R 指宿枕崎線・列車の愛称マーク



建設が始まるタイヨー枕崎店

今年11月ごろの新店舗の開店に向け、建設が始まっています。

### 「のんびりゆっくり号」

左の愛称マークは、枕崎駅が新たにスタートしたのを機に作られたもので、指宿枕崎線を走る列車の先頭に掲げられています。南薩路を列車で「のんびりゆっくり」と楽しんで欲しい」との願いが込められています。



廃止届出路線の一つである鹿児島空港線

# バス路線廃止問題について

4月6日、同社は関係自治体に対し、バス事業の一部廃止にかかる説明会を開催。廃止の理由としてバス事業の規制緩和、利用者の減少、原油価格の高騰などによる経営悪化によるものと説明し、本市のみならず県内のバス利用者に影響ある路線について、10月末にも廃止する計画を表明しました。

### ■南薩地域での対策

これを受け、4月13日に南さつま市で南薩地域の関係市町長によるバス路線廃止問題検討対策協議が開催されました。これに出席した岩崎コーポレーション(株)の西村常務取締役からバス事業廃止に関わる基本方針

市民の身近な交通手段として、広く親しまれている路線バス。そのバス事業の県内大手企業、岩崎グループ(いわさきコーポレーション株式会社)が、同社の運行するバス事業について一部廃止を表明しました。

の説明を受けた後、廃止問題に対処するため4市3町(枕崎市、南さつま市、指宿市、日置市、頤娃町、知覧町、川辺町)の市町長、市町議会議長による南薩地域バス路線対策協議会(会長・南さつま市長)を設置することを確認しました。

### ■枕崎のバス路線は？

本市に関わる廃止届出路線は、鹿児島空港線など8路線10系統となり、住民への影響が考えられます。

交通省九州運輸局へ廃止届を提出しました。

### ■廃止届を提出

南薩地域バス路線対策協議会では、廃止対象路線の利用状況や収支状況等の情報提供を求めるとともに、4月20日には岩崎グループと県に対して緊急の要望書を提出し路線の存続を訴えました。しかしながら岩崎グループは、5月8日付けて国土

## 公売

### 市所有の不動産(土地)を公売

次のとおり、一般競争入札を行います。

- ① 公売する不動産
  - ① 土地：住吉町1番地 地目：宅地
  - ② 土地：中央町29番地 地目：宅地
- ② 中央町公売地
  - 午後3時現地集合
  - 入札期日 7月7日(金)
  - 受付：午前9時 開始：午前9時30分
  - 入札場所 市役所2階会議室
- ① 土地：住吉町1番地 台帳面積422.59㎡
- ② 土地：中央町29番地 地目：宅地 台帳面積167.52㎡
- 公売方法 一般競争入札
- 現地説明会 6月30日(金)
- ① 住吉町公売地 午後1時30分現地集合
- ② 中央町公売地 午後3時現地集合
- 入札期日 7月7日(金)
- 受付：午前9時 開始：午前9時30分
- 入札場所 市役所2階会議室
- ◎ 入札の条件等、詳しくは 財政課財産管理係 TEL 7211111 内線 223

